

兵庫県保険医協会 神戸支部研究会

糖尿病治療薬の ポジショニングを考える

日時 **7月16日(土)** 午後**2時45分**～

※最初の15分間は製品説明を行います。

会場 保険医協会会議室

神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

講師 こだに糖尿病内科クリニック

院長 **小谷 圭** 先生

共催 サノフィ・アベンティス株式会社



SU 剤とインスリンしか選択肢のなかった30年前の糖尿病治療から思うと、現代の糖尿病治療は複雑すぎるように思えるかもしれません。実際、新しい薬が次々と発売され、どれをどのように使ったらいいのかわからないという声はよく聞きます。また、1つの薬で血糖コントロールが出来れば良いですが、併用しないとコントロールが難しい症例があるのが実際です。では、何から始めて、何と何を併用したら良いのでしょうか？

糖尿病の病態をもう一度おさらいし、大規模研究のエビデンスを紹介しながら、経口薬だけではなく、最近のGLP-1作動薬まで、それぞれの糖尿病治療薬のポジショニングを検証しながら、効果的な使用法を考えたいと思います。

【小谷記】

お問い合わせは、078-393-1817 難波・柳原まで

◆ **FAX (078) 393-1802** へ(切り取らずに)ご返信ください

7/16 神戸支部研究会に () 人参加します。

() 区 医療機関名

参加者氏名 _____ 電話 _____

兵庫県保険医協会 240号 2011年6月25日 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

職員接遇研修会

繰り返し受講することが大切



ロールプレイを交えて学習した

神戸支部は、5月21日に協会会議室で職員接遇研修会「医療現場の“おもてなしの心”とクレーム対応～チームワークの接遇力～」を開催し、大手前短期大学准教授の水原道子先生を講師に83人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

水原先生の接遇研修を受講させていただいたのは今回で2回目です。前は確か8年前でした。今回もとても楽しく新鮮な気持ちで受講させていただきました。

私たち医療職の第一の接遇は「ニコリ・優しく・お待たせしない」とのこと。「医療情勢が来年から更に厳しく

なる中、一人でも多くの方に選んでいただく必要がある。それは私たちの生活に直結するものだから接遇は大切である」その飾らない言葉に納得でき、本気で取り組まなければと思わせてくれました。水原先生は、少しの心遣いが印象を左右することを具体的に教えて下さいました。どれも日常当たり前に行っている自

----- (2ページへ続く)

----- (1ページから続く)

分の行為を振り返り、ハッと気づかせてくれるものでした。

また、日々感じていますが、やはり世間一般にもセルフコントロールの出来ない人が多くなっています。クレーム対応についても水原先生から教えていただいたことは、私自身が院所を守るだけでなく、クレーマーの方への心配りを大切にされた対応でした。それらを知っていることで、職員自身が安心して働けることにつながるのだと感じ

ました。

最後に「接遇は一人でも変わらない。全員で意識して効果がでる」と言われていたことを、私も早速スタッフに伝えようと思っています。そして接遇研修は一度でなく繰り返し受講することがとても大切だと強く感じました。すぐにでも実践したいと思わせて下さっただけでなく、元気までいただけた研修でした。ありがとうございました。

東雲診療所(中央区) 職員 柴垣 育代

兵庫県保険医協会

評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

理事長 池内 春樹

協会規約第12条の2及び(細則)協会役員等の選出規定の第3条の2および第9条の1により、評議員・予備評議員(医科)選挙の告示を行います。

【役職と定数】

評議員 26名 予備評議員 13名

兵庫県保険医協会規約 第18条

「評議員は、各支部または歯科部会を代表し、会員の意見を評議員会に反映するとともに、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する」

【任期】2年

【改選日時】7月21日(木)支部幹事会で選出

10月15日(土)支部総会で承認

【立候補日時締切】7月14日(木) 正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者(医科)は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

震災復興長田の会 「原発問題学習会」

原発依存から 政策転換を

神戸支部が加盟している震災復興長田の会は、長田区社保協と須磨区社保協との共催で、「原発問題学習会と被災地支援報告会」を開催し、31人が参加した。

元三菱重工職員の阪井保宏氏が、未曾有の被害をもたらした東日本大震災による福島原発の事態をどう見るか解説した。阪井氏は「炉は停止しても燃料棒がある限り核反応は残っている。廃炉にしても安定させるのには数十年かかる」とし、「日本の技術力をすれば自然エネルギーへの転換は可能。新增設をただちに中止し、原発依存からの政策転換をすべき。原発推進をやめさせる世論作りを」と訴えた。

参加者からは「停止すれば安全なのか」「本当に安全だといえる状態とは



地域から31人が参加した

どういう状態のことをいうのか」などの質問が出された。

また、各加盟団体からは東日本大震災被災地支援の活動報告がされ、「行政が公費支出を減らすために福祉避難所の閉鎖を迫ったため、避難者が行き場を失いそうになっている。利用者全員が安心できる場所が見つかるまで、福祉避難所の運営を続けることが求められている」と現地の問題点が指摘された。

投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療に関することや、主張などお寄せください。

◇ e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当：田村まで
◇ TEL 078 - 393 - 1817 ◇ 078 - 393 - 1802

